

## 秋期3大斗争にたらあなろう？

### 196円印紙のケタ供や、暴行半夕飯場を追いつめたとき出そう



仲間のみなさん、

金前後、仕事のある程度出ていたが、9月中旬より横バイになり、下りギギになった。当方は現金も橋本に減るといつ心配はない。な、例年ならすると少しづつ現金も少なくなると思われぬ。

着期金斗争(七五〇の最賃) ↓ 日雇禁止反対斗争(み返し適用の確保) ↓ 一級印紙完全貼付の斗争 ↓ 剪察り ↓ 全斗換菜日阻止斗争、その他と題つくひまのなりのケタの追脱斗争だった。釜日労、争議団は、今秋の斗争を次の3つに絞った。

- ① 暴行、ボッタクリ、ケタオケ飯場を追放する斗争。
- ② 雇用保険1級印紙(一四六円)を100%普及する斗争。
- ③ 健康保険へみ返し適用

の切り下げ、不利益を許さない斗争。

以上3本の斗争を全てで斗争決意だ。

中層は、財界や大手御用企業に自らの商賈をなげ、更なる「サクシエ」と強圧を準備し更戦してきている。トマホークの配備や全斗換費増強への援助などの日米韓日韓同盟の強化。国内では、改選攻撃、行革による人員サク減、福祉切りすこ、全労協協定直の中国のために仲間同士の路線 ↓ 戦争への動員体制作りとますます反動政敵を推し進めてきている。

仲間たち、

中層根幹等層の本質をみすえ、併竹着階級下層なら断固たる斗争を

組み、全国4大寄せ場を出撃隊員にし、日雇のすばらしい斗争をぶ

つけ、一歩たりとも後ずさりすることなく、3大斗争を斗争決意ではないか。

④の暴行飯場、ケタオケ飯場追放斗争は、仲間たちの報告や、独自の調査資料を基に、センターにひきつり出したり、トバス勝利号で飯場へのり込んだり、その他、創意工夫で追放していくこと。

3大方針の3番目は、④のケタオケ飯場との闘争もあるが、1級印紙(一四六円)の100%普及だ。今だ、二級の%印紙を貼っているハジ知らずのケタどもが約10%天出しがある。『ラ』表は

9月1日からの昨日までのマスレをもらった仲間の表だ。%は六二〇〇円のマスレを受けていることになる。兵庫や京都、奈良、三重の有名ケタオケ飯場に集呼している。バーバーつるしあげ、全費

六二〇〇円のマスに賃増得のため、少し勝ちとうてではないな。

三才方針の図は、日雇健康保険の斗いだ。後百廿、争議団は、春闘等のオニ葬として4月なら日雇斗等に取組んだ。そして3百商で四千名の仲間の名を集め、対大阪府斗等(約100名でぞも)から厚生省斗等と戦術を強化し、全協各支部との共同斗等

表I

	一級	%	二級	計
9月	3,603人	96.02%	149人	3,752人
3	4,340人	95.99%	181人	4,521人
4	4,708人	95.98%	197人	4,905人
5	4,808人	95.91%	205人	5,013人
6	4,878人	96.13%	196人	5,074人
7	4,833人	95.94%	204人	5,037人
8	6,187人	96.02%	256人	6,443人
9	5,114人	96.08%	222人	5,336人
11	4,813人	96.04%	198人	5,011人
12	4,632人	95.94%	196人	4,828人
13	4,475人	95.95%	188人	4,663人
14	5,761人	96.24%	225人	5,986人
17	5,985人	96.00%	249人	6,234人
1ヶ月平均	4,959人	96.03%	205人	5,164人

(65名の動員)で、政府健康保険に入り、名称も、「日雇特例被保険者」というふうになり、日雇健康としてはなくなった。な5月12日の対厚生省斗等で、今までもり、保険印紙を貼らなくても、白手帳に産用保険印紙が2ヶ月、28日以上貼ってこれば健康保険の印紙を貼らなくても、貼ったとみなす。これは、つまり、今までのうりの制度を残すことを確約させた。しかし、9月

※9割6分の仲間が6200円のP7しを受けていることになる。9月8日の土曜日に一番たくさんP7しをもらいに行った。

13日の全差遣の交渉の中で大阪府民生部役人は、日雇は月に14日しか竹竿ので、計算方法も変わる。日平均賃金は七五〇〇円なのでランウを一つ下げる。つまり左の表IIのようにになるといふのだ。(みなしの時)

	今まで	今度から
1日の傷病手当金の計算方法	4級 賃金 3500~5000円 平均 4400円 の6割 2640円 が1日の傷病手当金と支給(通院時) A額 79,200円	6級 賃金 6500~8,000円 平均 7,250円 の6割 4,350円 を かけ1日の傷病手当金 が2,030円 とね (通院時) A額 60,900円

表II

一ヶ月、六〇九〇の円で生活、通院しろといふことだ。そしてその中から一割の治療代を過渡するたびにとられる。むしろ日雇は、青汁として、ワスミでもたべ、服や着替の少ない南の島で生活せんとアサのかが、皆はナニタニだ、病氣やケガをしたり、仕事は出さなくれば、死ね、と言っているのだ。敵の正体はつなめた、レボ斗いにとろう、